

市民目線で
関市を調査!!

それ行け! 市民記者



はじめての図書館

「図書館を利用したことないね。どーしょ。」
今回初めて関市立図書館を利用する3人。
不安だらけのヤブ才君
平気なフリをするユタカ君
やる気満々のソトム君
3人が向かう図書館入口の先には保護者も
知らない驚愕の事実が・・・
それは一体何!
それぞれ不安と期待を抱きながら・・・
いざ出発!



がんばれ～

だいじょうぶ
かなあ

～初めて図書館にやって来た3人。
無事に図書館カードを発行してもらい、
本を借りることが出来るのか～

STEP1 図書館カードを作ろう

STEP2 本を借りよう



本を選ぶ
図書館内で読みたい本を探しましょう。借りたい本が決まっているときは蔵書検索端末 (OPAC) を使うと便利です。
※館内では大きな声を出したり走ったりしないように・・・



貸出手続きをしよう
借りたい本が決まったら窓口へ。職員の方が貸出処理をしてくれます。処理後にレシートを受け取ります。
※内訳と返却期日が書いてあります。



手続き完了
返却日まで楽しく読みましょう!
※本を入れる袋を持っていきましょう。
※雨の日にはビニールで包むなど、本が濡れないようにしましょう。



申込用紙を書こう
申込用紙に必要事項を記入しましょう。
※運転免許証などの身分証明が必要です。



手続きをしよう
窓口の職員の人に申込用紙を渡します。
※説明はしっかり聞きましょう!



図書館カードをもらおう
説明を聞いた後に図書館に関する資料と新しい図書館カードをもらいましょう。裏面にはちゃんと記名を忘れずに!

できちゃいました!

STEP3 本を返そう

本を返却

借りた本を持って図書館へ入って、すぐにある窓口へ返却します。
※必ず期日を守ってください。

開館時間に返却できない場合は図書館外、東にあるブックポストに入れてください。(大型絵本やDVD、CDは直接窓口へ返却してください。)



地底には開かるの間が実在した!!
知られざる図書館のナソをあばけ!!



さあ、出発だ!

館内は、明るくて
さわやか



「おはなしコーナー
・絵本コーナー」



赤ちゃんの絵本を発見!



読むことに困難のある方
のための「デイジー図書」



「拡大読書器」
文字の細かい新聞記事や
資料を見るのに便利そうだね

利用者の声を
大切にしているんだね

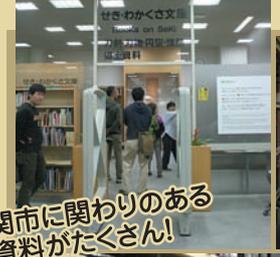


図書館資料のための
コピーサービスもありました
※持ち込みの資料は
コピーできませんよ



バックヤードでは
本の修理も
行われていた!

「わかさ文庫」



関市に関わりのある
資料がたくさん!



「ビデオ・CD」

DVD やビデオ、CD がこんなにたくさん!
意外だなあ!



利用者が通常足を踏み入れることのできな領域!!
いよいよ地下書庫に潜入!



地下には
巨大な書架に
大量の書籍が!

さらに奥には最大のマル秘ゾーンがあった!!

※今回は特別に入室許可を得て取材しています。

厳重に温度・調湿管理されています



なんと! 江戸時代からの
古文書が保存されていた!



主宰するNPOの
創刊時の記事を
発見して
喜ぶ北村記者

教えて

館長さん

関市図書館長
内海春代さん

電子書籍が利用できる
県内でも先進的な
図書館なんですよ



ニックネーム
はるちゃん



文学、社会、芸術など10分野に分かれてますが、文学が34%が多いよ。



どんな分野の本が多いのですか？



蔵書数も貸し出し冊数も県全体で6位なんだよ。



県内の他の図書館と比べて多いの？



345,427冊あるんだよ。(平成23年3月現在)



図書館の本は何冊あるの？



小学生向けに「なりきり図書館員」という体験学習を企画しているんですが、大人版も企画しますので、是非体験してみてください。



突然！
割り込む
司書さんって、忙しいんですか？！



図書館では、みんながもつと本を読んでもらえるように、年間30回以上の講座など本に関するイベントを開催しているんだよ。一度参加してみてね。



利用者をどうやって増やしているの？



関市の人口が93,500人に対して、29,382人が図書館カードを持っているんだよ。3人に1人の割合だね。(平成23年3月現在) まだまだ多くの人に利用していただきたいですね。



市民は図書館をどのくらい利用しているのだろうか？



図書館外に飲食できるスペースがあるの、そちらでお願いしたい



図書館に食べ物とか持って入っていいんですか？



事前に手続きをすれば、インターネットで本の検索や予約ができるんだよ。



おうちで本の検索や貸し出しはできるの？



選書の基準はありますが、皆さんの読みたいというリクエストにも応えているんだよ。



図書館に置く本はどうやって決めているの？



本館は、午前10時から午後8時まで開館していますよ。土・日、祝日は午前10時から午後5時までだけど、夏休み期間の土・日は、午前9時30分から午後6時まで開いているんだよ。本の返却は夜間ポストが設置してあるから、いつでも返せるんだよ。



図書館の利用時間は何時までですか？分館も同じですか？

図書館って楽しいね。
また来よう！



これからも、もっと図書館を利用してくださいね。

ありがとうございました！



視覚障がいのある方を対象とした録音図書や点字の本、聴覚障がいのある方のための字幕入りビデオ、知的障がいのある方を対象にした本などがあります。



身体の不自由な方へのサービスはありますか？

本を読みながら飲んだり食べたりと、お行儀の悪い事はやめましょうね。
また、新刊書が犬に噛まれてポロポロで返ってきたなんて事も... みんなで使用する場所や本ですから、お互いにマナーを守って使って欲しいですね。

ZadanKai 座談会



★図書館へ行ってみたいけどどうだった？

- イメージと違った!!
- 想像していたよりも、素敵な空間で落ち着いた!!
- マイナスイオンが出ているイメージ(笑)
- もっと手続きが面倒だと思っていただけ、思ったより簡単に借りられて、簡単に返せるんやね
- いつもは本屋さんで買ってたけど、これから図書館へ行こうと思った。
- 子どもにはとてもよい環境やね、子どもの本が充実しているし、見やすく工夫されていたね。
- それに、子どもの本の近くにはお母さん達向けの料理本や手芸本があって、親子で楽しめる工夫がされている。
- 子ども用カートもあって、取り合いになるくらい人気なんやって!!
- 思ったよりいろんな種類があったね、雑誌がこんなにも充実しているとは思ってなかった。
- バックナンバーもあるのが嬉しい。

○自宅でネット検索してから行けるのも便利そう。

○もつといろんな分野の本があれば？

○専門書かもつとあればいいなあ

○その辺は、指定管理になってから、大学や他県との連携でかなり改善されたみたいやね。しかも、愛知・岐阜・三重・石川・富山・福井の6県は、県図書館が送料を負担してくれます。その他の都道府県は、図書館が送料を半分負担してくれます。

★マナーについて

○子どもは走ったらダメ!!と言っても走る(笑)

その子どもを注意する声のほうが大きくなってしまつとも…(笑)

かといって、それをダメだということにしてしまうと、本の普及に繋がらない気がするし…

○親さんの意識も大事だけど、子ども達が図書館の雰囲気慣れしてくれるのが一番いいよね!

★もつとこうなればいいのに、

○もつと本に親しんでほしい。

○子どもの場所、学生、シニアなど、スペース分けしたら？

○分館との環境の差がありすぎるので、繋がりをもつてほしい。

○確かに、地域格差あるよね

○駐車場が他施設と一緒だと、イベントなどの時に停めるスペースがないので、図書館専用の駐車スペースを作ってもらえたらいいなあ。

○勉強について

持ち込みの勉強はやっぱりダメなのかなあ？

図書館の本来の目的とは違つかもしれない…

図書館に勉強するところと思込んでいたし、そう思っている人が多いと思う。でも、一般の人が座るスペースが無くなくなってしまったら申し訳ないし…、別の部屋を開放してほしいね。

だつて、部屋いっぱい空いてるやん!! 夏休みだけでも、自習室として開放してほしいね

市…空いている部屋は、中央公民館施設としての扱いなので、現在は自習室などには開放していません。また、いつも空いているというわけでもないですよ。

記者…学習情報館では？

市…そうですね、市民の皆さんの声は大事です。いろいろな意見を伺いながら、よりよい図書館を目指してニーズに対応していくことが必要ですね。



まとめ

Editor's Talk

我々、市民記者は、今回の取材を通して、以下のことを感じました。

1. もつと知って、利用しよう。図書館は、知ってみると魅力がいっぱい

市民記者の中に、図書館を利用したことがない記者が3人いました。市民の皆さんの中にも、利用したことがない人が少なくないのではないだろうか。今回紹介したように、最初の手続きはすごく簡単で、きれいで快適な空間が広がっています。ぜひ、一度訪れてみてください。

2. 図書館も時代に合わせて変革を

今回、取材を通して、市民のニーズも昔と比べて変わってきていることがわかりました。電子書籍などのテクノロジーの変化はもちろんなこと、勉強を一人でやるのではなく、グループワークを行うことが多くなっていることや、インターネットの普及により、書籍により専門性を求めるようになってきました。

「図書館もサービス業になってきた」と館長もおっしゃっていましたが、これまでのことを踏襲するだけではなく、新たな市民ニーズに合わせて変わっていく柔軟な図書館を目指してほしいと考えています。

インタビュー

今年度初めての市民記者のページはいかがでしたでしょうか。今年で3年目となる市民記者のページですが、今年は12人の記者でワイワイ、ガヤガヤと楽しく取材や編集を行いました。

市民記者：川嶋涼子(編集長)・加藤慶子・神谷智幸・神谷保夫・北村隆幸・小鞠 敦・後藤 寛・中野若葉・野澤敬子・野田卓志・長谷部信行・早川洋詞

【写真】川嶋・小鞠 【レイアウト】小鞠